

1. 指定管理者名	公益財団法人 多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	平成23年4月1日 ~ 平成28年3月31日
3. 業務の範囲	(1)小泉公民館の施設及び設備の維持管理に関すること。 (2)小泉公民館の使用許可に関すること。 (3)使用料の徴収に関すること。 (4)公民館事業の実施に関すること。

4. 採点表		評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点	
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満~95%:4点、95%未満~85%:3点、85%未満:2~0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	105%未満~95% 4点	年次報告書P90.91(利用率・利用人数) ※平均値比●%=(H25年度実績)÷(過去2年間実績平均値)) 大ホール:45.3%(平均値比92% =45.3÷49.2%) 研修室:35.9%(平均値比101% =35.9÷35.5%) 会議室:21.6%(平均値比105% =21.6÷20.5%) 和室(1):30.6%(平均値比104% =30.6÷29.3%) 和室(2):24.9%(平均値比104% =24.9÷23.9%) 料理実習室:6.7%(平均値比77% =6.7÷8.7%) 多目的実習室:30.5%(平均値比111% =30.5÷27.4%) 平成25年度に近隣施設(根本交流センター)ができ、一部の利用者が活動の場所を移動したことによる。 大ホール及び料理実習室の利用が減ったが他の施設で利用が増えたため全体の利用率は前年とほぼ同じであった。	4点
			②利用人数	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満~95%:4点、95%未満~85%:3点、85%未満:2~0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値	95%未満~85% 3点	年次報告書P90.91(利用率・利用人数) ※平均値比●%=(H25年度実績)÷(過去2年間実績平均値)) 大ホール:18,412人(平均値比89% =18,412人÷20,662人) 研修室:7,864人(平均値比95% =7,864人÷8,319人) 会議室:2,410人(平均値比101% =2,410人÷2,383人) 和室(1):5,590人(平均値比101% =5,590人÷5,550人) 和室(2):3,984人(平均値比96% =3,984人÷4,136人) 料理実習室:992人(平均値比75% =992人÷1,317人) 多目的実習室:4,653人(平均値比100% =4,653人÷4,668人) 12の定期利用団体が高齢化や会員減少のため解散したため利用人数が減少した。 今後は、さらに魅力ある講座の企画、たじみオープンキャンパスから同好会への移行を促し、利用者の増加をはかる。	3点
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15)	15	仕様書以上:15~12点、仕様書に忠実:11~9点、仕様書の一部不実施(軽微):8~7点、仕様書の一部不実施(中程度):6~3点、それ以下:2~0点	年次報告書P95~97(文化事業一覧) ①公民館まつり ・小泉公民館まつり(ステージ部門)参加者 350人(展示部門)参加者 300人 ②地域意識醸成事業 ・小泉ふれあい広場(500人・活性化委員会、小泉校区青少年まちづくりほかとの共催) ・秋のウォーキング(19人・活性化委員の会との共催) ・早春ウォーキング(38人・活性化委員の会との共催) ・巨大セタカざり(80人・小泉保育園との共催) ・オカリナコンサート(150人・大原児童館との共催)ほか	仕様書以上 12点	小泉ふれあい広場では地域の諸団体の協力により、三世代ふれあいコーナーでの工作や、模擬店など中学生ボランティアの活躍など楽しいふれあいの場となった。 その他、地域団体と連携し、地域意識の醸成をはかる事業を展開することができた。	12点	
(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が期待以上:15~12点、内容・事業数等が例年通り:11~9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8~7点、内容・事業数等が例年より劣る:6~3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2~0点	年次報告書P95~97(文化事業一覧) ・おとなの学校(11講座) ・ふれあいサロン「茶話和」(毎月第3金曜日) ・ふれあいサロン「茶話和」スペシャル ・親子講座(3講座) ・夏休み子ども体験講座(6講座) ・からだ元気!シェイプアップ体操(5回) ・らくらく筋力アップ体操(毎月第3金曜日) ・フロントギャラリー展示(5,340人)ほか	期待以上 13点	子ども向け、親子向けから高齢者まで幅広い講座を実施している。 今年は、1年を通じて継続的に開催する講座を「大人の学校」と名付け、11回開催し、好評を得た。 親子体験講座「消防士になろう」では、食生活改善協議会の協力で非常時に食べる食事を体験した。 フロントギャラリーでは年間を通じて5,340人の方が利用者の作品等を楽しむことができた。	13点			
2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	年次報告書P92(維持管理業務) ・施設内清掃(基準:毎日)を実施	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点	
			②保守・点検		年次報告書P92(維持管理業務) ・消防設備保守点検(基準:年2回)・・・年2回実施 ・空調機器設備保守点検(基準:年4回)・・・年4回実施 ・エレベーター設備保守点検(基準:年12回)・・・年12回実施	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			③保安・警備		・機械警備業務を委託して実施(毎日)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			④小規模修繕		年次報告書P93(有償修理の内訳) ・小規模修繕 18件 総額 949,016円	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)		・館内の巡回を実施し、危険箇所の早期発見に努めている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		(2)環境への配慮		・市に準拠した方法で管理している(ファイリングシステム)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。			
		①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する		①夏場は扇風機の使用やゴーヤカーテンで冷房使用を最小限に抑えている。 ②館内の清潔に努めるとともに、月1回程度敷地周辺の清掃活動を行っている。	期待以上 3点	適正に実施されている。 光熱水費の削減につながった(電力減量 3,629kwh)			

	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	③バリアフリー	15	(期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	・大ホール入口にスロープを設置し、車椅子の方に対応している。 ・避難経路をふさがない、通路に物を置かない等を徹底している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	12点	
		④備品管理			・備品の劣化状況を点検している。劣化した備品は取り替えている。25年度は研修室の机と椅子を更新した。	期待以上 3点	協定書の規定以上(備品1件20万円)の範囲を超えて、卓球台3台を買い替えた。(296,400円)		
		⑤個人情報保護			・多治見市文化振興事業団「個人情報保護方針」に基づき実施している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	・講座の先生が講義中に気分が悪くなり救急車で搬送したが、その日のうちに無事帰宅された。	事故なし・対応に不備なし 0点	的確な措置をとることができた。	0点	
3	当該施設の経営状況(5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入21,170,880円÷支出20,026,064円＝106%	105%以上 5点	指定管理委託料の範囲内で適正に事業が行われている。	5点	
4	より良い施設運営のための取組(30点)	(1)市民・利用者の声の反映(15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	・駐車場を増やしてほしいとの要望は常にある⇒詰めて駐車してもらうよう呼びかけている。コンサート等の土日に開催する文化事業は、近隣の事業所に協力をお願いしている。 ・料理室のスリッパ入れに靴を入れる人がいる⇒衛生面を考慮し靴入れとスリッパ入れを別々に設置した。	適正(普通) 7点	各要望に対し、適正かつ迅速に対応している。	7点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	・公民館近隣の方から、保健センターの検診車の音や大ホールの空調の室外機の音が大きいとの指摘が多治見市にあったため、検診車は少し離れた所でやってもらい、室外機はガタツキがあったため修繕を実施した。	苦情なし・適正(普通) 4点	苦情に対して、迅速に、適正に処理している。	4点
	(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	・常にアンテナを張り、お客様のご意見やご要望を聞くようにし、より良い公民館運営に努めている。さらに、事業が終わった後に必ず振り返りと改善を行うようにしている。 ・利用率の向上に向けて、定期的に利用する団体や市民を増やすとともに、魅力ある講座を企画し幅広い市民に公民館を利用して頂くことにも留意したい。 ・25年度を振り返り、より多くの市民が健康増進や維持に対して関心を寄せていることがわかったため、市保健センターや保険年金課との事業を活用させていただきながら、健康に関する講座を推進していくと共に、同好会発足へとつなげていきたいと考えている。 ・三世同居の多い小泉地域の特性をいかす事業を考えていきたい。その際は、活性化委員の会をはじめ、地域の諸団体の協力を仰ぎながら進めていけると望ましいと考えている。	期待以上 12点	・講座参加者の利便性を考え、継続的に開催する講座を「大人の学校」を11講座開催し、年間を通じて参加できるよう工夫した。 ・元来、同好会の数が多く、活動が活発であったが、高齢化等で利用人数に陰りが見えている。 ・課題に対し、的確な提案がされている。 ・三世同居の多い地区の特性を活かす事業を是非すすめてほしい。	12点	
5	その他(減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	適正に実施されている	遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施されている。	0点	
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	なし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし		0点	
	合計		##	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下			全体的な評価 ・継続的に開催する講座を「大人の学校」としてまとめ、年間を通じて参加できるよう11講座実施し、好評な企画となった。 ・地域機関や青少年まちづくり市民会議との事業が定着し、あらゆる世代が公民館でつながりを深めている。 ・親子の触れ合いの場として親子体験教室を開催し、父親とのふれあいを目的にした事業も実施した。 ・安全な空間づくりを心がけ、継続的に環境改善を行い、快適な居場所作りを心がけた。 ・設備の故障等に対しては迅速な修繕を行っている。 ・利用者の要望や苦情に真摯な態度で対応し、迅速に処理している。 ・全体的な施設の管理運営については、概ね良好に行なわれている。	合計82点 良好	